

3月の校長室より その2

—暖かな日和に桜の花を待つ—

見上げたる 母を見下ろし 卒業す

令和2年度柿岡小学校第74回卒業式が無事に終わりました。22名の卒業生たちは新しい中学校生活に向けて柿岡小学校を巣立っていきました。卒業式で卒業生たちと一緒に歌うことができなかった「仰げば尊し」歌詞とその意味をはなむけの言葉として贈ります。

仰げば尊し わが師の恩
教えの庭にも はや幾年
思えばいと疾し この年月
今こそ別れめ いざさらば

互いに睦し 日頃の恩
別るる後にも やよ忘るな
身を立て 名をあげ やよ
励めよ 今こそ別れめ
いざさらば



朝夕慣れにし 学びの窓 蛍の灯火 積む白雪
忘るる間ぞなき ゆく年月 今こそ別れめ いざさらば

この六年間、先生方から、たくさんのことを教えていただきました。小学校に入学してから、もう六年が経ちました。思い返せばとても早く感じた学校生活でした。今まさにお別れです。さようなら。

お互いに仲よく過ごした友だちとの絆。卒業した後も決して忘れません。社会に出て、みんなに認められ、さらに励んでください。今まさにお別れです。さようなら。

早朝から夕方まで慣れ親しんだ学校で、勉強や運動をがんばり、楽しく過ごした日々を忘れることはないでしょう。今まさにお別れです。さようなら。